1年ぶりの公演は田代の商店街が舞台

南の星座公演「里美ばあさんのお買い物」

錦江町では約1年ぶりとなる公演が11月23日 の勤労感謝の日に予定されています。今回の舞台 は田代の商店街。この機会にぜひご覧ください。

11月23日♥ 13:30 開場 14:00 開演 会場 田代保健福祉センター

「ジョイサウンズ秋 の演奏会」と同日 型コロナ感染対策



て開催しますのでマスク着用や会場入 口での消毒にもご協力をお願いします。



14:00~15:00 南の星座 認知症劇 15:00~16:00 ジョイサウンズ演奏

●ジョイサウンズ秋の演奏会は 11 月 21 日 も 錦江町総合交流センターで開催されます。21日 のみ La partida によるピアノ演奏もあります。 ※時間は予定で変更される場合があります



問 南の星座事務局☎ 0994-22-3111 (肝属郡医師会立病院 地域医療室内)

地域性を取り入れ認知症の方 持ちの変化に気付いてもらえ り返ってもらう。 活が送れます。目を背けず向 方でこれまでと変わらない生 ちょっとしたサポートや言い なくなる訳ではありません。 に起こりがちな状況を想定。 ってもすべての生活ができ 南の星座は公演先ごとに のは当事者。 と活動に期待を込めま 自分たちの行動を振 劇のあと気 認知症と 複雑な感情。 と関わりを絶ちたくなる

じ分けて可視化することで、 当事者への対応をそれぞれ演 対応を分かりやすく伝えると いう狙いもあるそうです。

しかし誰よりも苦

解を深めてもらおうと講和を

いかが

想像することで見えてくる

にすらなるほど沈んでしまい ます。言葉では表現できない の書籍にも書かれてません。 そのような説明は認知症のど しかし当事者はそんな気持ち 「認知症になると周りの人 そこまで追い込 ずです。 会にぜひご覧ください。 演を予定しています。 は錦江町で1年ぶりとなる公 かもしれません。今月23日に こと自体が福祉や介護、そ とで見えてくる何かがあるは 演じること。その人になりき て認知症ケアに通じてい るために想像を膨らませるこ そう考えると演じる

るの

い取り組んでいきます。

そのきっかけになることを願

南の星座と広報きんこうも

に変えることはできます。

りの意識と行動で

「幸齢化」

意識が変わり行動するきっか けになってほし んでしまった原因はなにか。 それは誰かの立場で いです」。

い演じて 示で人の行動は簡単に変わる めには難しい講和より演じる ものではありません。そのた きることを感じ、 の原因や症状ではなく、 4年前から目的と表現方法は なりに導き出してほしいと願 一貫して変わりません。 人と寄り添い暮らすためにで の星座を初めて取材 います。

「伝えたい」 という共通点

ことが人の心をつかみ突き動 そして自分 お願いや指 その 病気

> 立 し ます。 ることです。 私たちは誰もが年老いていき 齢化は問題なのでしょうか。 広報企画。課題と叫ばれる高 地域2町で企画した初の合同 かすのかもしれません。 県内高齢化率トップの南隅 そこで生活できなくな 本当の問題は地域で孤 私たち一人ひと

木希さん。認知症に対する理 のは肝属郡医師会立病院の桜 を交えながら進行を担当する けます。劇中でクイズや講和 かったのかな?」とさらに続 所の人たちはどうすればよ が返ってきます。「家族や近 返り子どもたちから元気な声 子どもたちに投げかけます。 あさんは怒ったのかな?」と 何回も同じこと言うから、 「なんで里美ば 前半を振り 孫の名前 を演じることで不快に思う方 労や悩みがあります。 木さんですが、

間違うから」

٤

約束忘れてるから、

見守る家族も計り知れない苦 活動のきっかけ」と続ける桜 う必要があると感じたことが その人に寄り添って楽しく暮 たと胸の内を明かします。 融合させることに不安もあっ らすための工夫を知ってもら とができます。病気ではなく、 劇なら気軽に理解を深めるこ く違うと感じているそう。 「認知症当事者はもちろん 「本を読むのは大変ですが 劇での伝わり方はまった 病気と笑いを 認知症

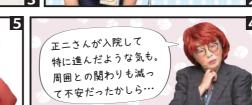
行う機会も多い桜木さんです

自分に置き換えた対応を 演者それぞれの心情から

劇の途中、



要になります 買うクセもな同じ物ばから







桜木 希 臨床心理士 肝属郡医師会立病院



さくらぎ・のぞみ ▶ 1986 年南大隅町 生まれ。鹿児島大学大学院心理学研究 科修了後、民間の緩和ケア病院を経て 2013年から肝属郡医師会立病院で 緩 和ケアや認知症、在宅医療などに従事。

南の星座をよく知る皆さんの「声」

認知症劇を見た人たちに感想を聞きました

錦江町民生委員馬場みよ子さん

とにかく面白い。鹿児島弁を使った演技 や仕草に会場中が笑いに包まれて元気な

気持ちになります。普 あらためて否定しては だめだなと感じます。 認知症=施設ではな いと思いました。

福祉アドバイザー半下石 和枝 さん

半下石の高齢者サロンで出演してもらい ました。参加者も大笑いで楽しませても らったことを思い出しま

大根占小学校 吉國 三宝 校長

いただいています。劇を

見終わった子どもたち の変化は目に見えて感じ

られます。劇だから

こそ伝わるものが

あると思います。

2年前から総合学習の時間を使って認知 症への理解を深めてもらう学習にご協力

す。「南の星座」は笑っ て終わりではなく、相 談先や対応の仕方なども 一緒に学べるのでま た来てほしいです。